

令和5年度

事業計画書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

令和5年度事業計画書

1. 令和5年度事業の実施方針

令和5年度は、新しい試みとして「初公開！勝山城博物館コレクション展」（仮称）を開催します。近年、当館へご寄贈・ご寄託頂いた作品調査の一部が終わり、展示公開します。福井県内、勝山市内で秘蔵されたきた美術作品を勝山城博物館で初公開します。博物館の魅力や価値をより多くの方々に認識していただきます。

勝山市との共催特別展覧会は、引札に焦点をあて近年勝山市に多数寄贈された、色鮮やかな初公開資料をご紹介します。また勝山市内に残る資料を通して、市のPRにも繋がりたいと考えております。

その他、例年の通り18回目となります絵画作品展「勝山とお城を描こう」、勝山市内4施設で行うクローバーグループ連携事業「俳句」ちやまを詠む、当館ホール等を貸し出す貸館事業、そして、今では博物館の大きな支えとなっている勝山城友の会事業が令和5年度の主な事業活動です。

今後は勿論の事、活動の核となる職員の資質向上をはかり勝山市民との関係を今以上に築き、事業活動へのフィードバックしていくことを目指してまいります。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

①クローバーチケット連携「俳句」ちやまを詠む

応募期間 (春夏期) 令和5年3月1日(水)～令和5年8月31日(木)

(秋冬期) 令和5年9月1日(金)～令和6年2月29日(木)

入賞者発表 (春夏期) 令和5年9月中旬

(秋冬期) 令和6年3月中旬

クローバーチケットで連携を結んでいる、ゆめおーれ勝山・越前大仏・白山平泉寺歴史探遊館まほろば・勝山城博物館の4館に俳句の投句箱を設置します。古くから俳句が盛んであった勝山にふさわしいイベントとして、各施設の来館者に自由に俳句を詠んでいただき、勝山の文物や自然をより楽しんでいただけるよう企画しています。

②「初公開！勝山城博物館コレクション展」(仮称)

日程 令和5年4月中旬～8月下旬(予定) (水曜通常休館)

初公開！勝山城博物館コレクション展」(仮称)を開催します。近年、当館へご寄贈・ご寄託頂いた作品調査の一部が終わり、展示公開します。福井県内、勝山市内で秘蔵されてきた美術作品を勝山城博物館で初公開します。博物館の魅力や価値をより多くの方々に認識していただきます。

③勝山市・勝山城博物館連携第9回共催特別展

「初公開！勝山に残る近代の引札の世界」(仮称)

日程 令和5年9月上旬～12月上旬(予定) (水曜通常休館)

今回は、引札に焦点をあて近年勝山市に多数寄贈された、色鮮やかな初公開資料をご紹介します。また、勝山市内に残る資料を通して、市のPRにも繋がりたいと考えております。

④勝山市・勝山城博物館連携

第18回絵画作品展「勝山とお城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 令和5年8月1日(火)～10月3日(火)

表彰式 令和5年11月3日(金・祝) 2階障壁画ホール

展示会 令和5年11月3日(金・祝)～11月23日(木)

「清明茶会」と並び、本イベントも長年の積み重ねが評価されて勝山市との連携協力事業となっております。県外からの応募もある本企画は、子供から大人まで気軽にご応募でき、展示会には毎回多くの親子連れに足を運んでいただいております。未来の来館者にも繋がるイベントと位置付けています。

(2) 主な貸館事業

①月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日（計4回を予定）

会場 2階和室「蘭月の間」

協賛 勝山市茶道連合会

当日ご来館いただいたお客様にお声掛けをし、和室にて本格的な薄茶もしくは煎茶を提供いたします（要別料金）。当館の茶室で気軽に茶道に親しむ機会を提供いたします。

この他にも、随時当館の文化・教育事業に相応しいイベントでの利用を働きかけるとともに、貸館の申し込みを受け付けます。

(3) 学芸活動

①燻蒸作業は、共催特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います。（市から規定の利用料あり）館蔵品もその際同時に燻蒸庫を利用して燻蒸するほか、専用の防虫剤・調湿材の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

当館の知名度向上に伴い作品寄贈や寄託も増えた一方、収蔵庫や展示室の大規模燻蒸は近年行われていないため、一度燻蒸計画を立てる必要があると考えております。

②調査研究活動では、引き続き研究会や所属学会への参加を通じて各地の学芸員や研究者との繋がりを確保し、日本博物館協会の全国大会にも参加することで、館としても県内外の機関のネットワークに確実に認知されるよう活動してまいります。どのような博物館であるかを知っていただくことで、作品貸し出しやその使用料収益、ひいては来館者増にもつながるものと考えております。

③平常展示では、地球の環境汚染に伴う気温上昇等で、室温が一定を保つことが出来ない状態の中で、3階平常展示室において展示作品の保存と展示を考え、3階展示会場に空調設備を考えております。又、作品保護のために定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そのままに、絵画、装束と刀剣の入替えをメインといたします。刀剣・銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍作品の入替えや西脇呉石作品入替えもできるだけ行ってまいります。県内の刀剣協会・書道団体にも当館の展示室をアピールして参ります。

- ④館蔵品では、館蔵品コレクションのメンテナンスを考え、武具甲冑の専門家や絵画専門家に修復や保存のためのアドバイスを受けようと考えています。多田清氏よりご寄贈頂いた屏風作品は経年劣化に伴う破損が目立ち、修復も今後検討しなければならないと考えております。
- ⑤共催特別展では、主に勝山市の職員と連携して展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

(4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 4月下旬
- ② 館外研修旅行 5月24日(水)(京都府京都市)
- ③ 友の会だより第30号の編集・発行
- ④ 写真や版画など各種教室
- ⑤ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。勝山市との共催事業については「広報かつやま」への紹介や、チラシの全戸配布などもご協力いただく予定です。また、当館ホームページを利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では新聞折り込みや広告の掲出も検討いたします。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例及び臨時理事会の開催 3回(事業計画・予算、事業報告・決算、人事)
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算、人事)